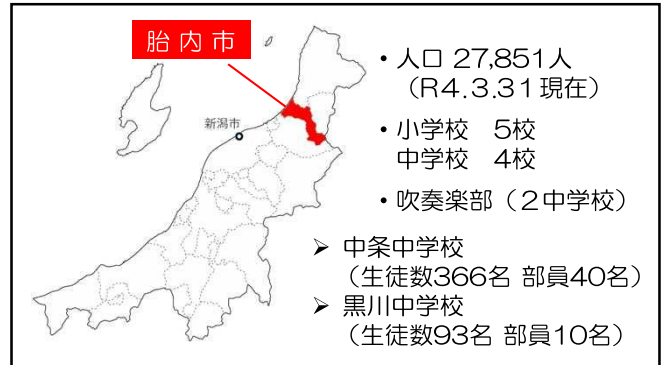


地域移行に向けた 吹奏楽部合同部活動の取組

～地域人材とICTの活用～

新潟県 胎内市教育委員会



1 事業目標

- ・ 外部指導者やICTを活用した合同部活動を実施することを通して、部活動顧問の負担軽減を図る。
- ・ 文化部活動の地域部活動への移行の在り方について検討し、令和4年度から胎内市内吹奏楽部の休日の地域部活動を段階的に実施する。

2 取組(1) 地域人材の活用

地域人材を共通の外部指導者として、

定期的な訪問指導を実施



- 顧問の指導支援
- 合同部活動の土台作り



中条中学校での訪問指導



黒川中学校での訪問指導

- ・ 年間を通して休日を中心に定期的に訪問
- ・ 各学校のレベルに合わせた基礎的な指導や合奏指導等
- ・ 県外講師とのコーディネートなど

2 取組(2) ICTの活用

- ① ネット上のサポート動画の活用
(愛知県吹奏楽連盟制作)



- レベルに合わせた個人練習
- タブレットを視聴ツールとして活用



サポート動画集（愛知県吹奏楽連盟制作）

- 木管、金管、打楽器など12楽器等の講座
- 楽器ごとに「入門・初級編」「中級編」「上級編」
- それぞれ20分程度の6 Stepの動画で構成



全216動画

タブレットを視聴ツールに活用

- 生徒は自分のレベルにあった動画を選択



- 楽器ごとのグループで視聴したり、個人で視聴したりして練習に活用

2 取組(2) ICTの活用

②遠隔地の指導者によるリモート指導

(木管指導者：埼玉県在住)

(打楽器指導者：千葉県在住)



- 課題動画で練習（1学期～）
- 動画で返信（2学期）
- 個々の課題指導（3学期）



(打楽器の練習課題の一部)



課題動画をもとに練習



練習成果を動画で返信



返信動画から個々の課題の指導

(個々の課題の指導)



(個々の課題の指導)



2 取組(3) 地域との連携

地域移行に向けた地域との連携強化



- 地域移行に向けた検討会議の開催
- イベント等での合同演奏



3 成果と課題

<成果>

- 地域人材の活用により、顧問の負担軽減と多様な活動の展開がはかられた。
- ICTの活用により、県外の優れた指導に接することができた。
- 検討会議の中で、地域移行に向けた課題を整理できた。

3 成果と課題

<課題>

- 市内には吹奏楽関係の団体がなく、活動の受け皿づくりが大きな課題である。
- 楽器や場所の関係から、活動拠点が学校に限定される。
- 楽器の維持や専門的な指導への対価など費用負担が課題である。

<本発表の中でご指導、ご協力をいただいた皆様>

- 地域の外部指導者
板倉久徳 様 (金管、全体指導)
- リモート指導
林田和之 様 (木管、埼玉県在住)
染谷太郎 様 (打楽器、千葉県在住)
- サポート動画
愛知県吹奏楽連盟 (フルート入門・初級編)
磯貝俊幸 様 (金城学院大学准教授)